

令和2年4月 データから見た業界の動き

■ 概 況

4月の山梨県内のD I値は、業種全体で売上高は▲62ポイント（前年比▲68）、収益状況は▲52ポイント（前年比▲44）、景況感▲60ポイント（前年比▲42）となり、3月に引き続きいずれの項目も昨年より大幅に悪化している。

製造業では、売上高▲65（前年比▲70）、収益状況▲55（前年比▲45）、景況感▲65（前年比▲40）、前月から新型コロナウイルスの感染拡大による影響が出始め、取引先のみならず自社内に感染者が出た場合でも業務が停止するなど、いずれの場合でも影響があると予測もあった。電気・機械製造業では各自動車メーカーによる販売台数の下方修正から生産機械への投資が縮小、終わりの見えない受注減に危機感を持っている報告が寄せられた。

非製造業でも、売上高▲60（前年比▲67）、収益状況▲50（前年比▲43）、景況感▲57（前年比▲44）と同様に悪化。

コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が全国に発令されたことにより、各卸・小売業では展示会や観光イベントなどが相次いで中止、警備業界では売り上げが70%ダウン、観光・レジャーの自粛、都道府県をまたがる移動の制限などの影響から、タクシー・バスの旅客運送業では大きな打撃を受けている。宿泊業においては休業を行う事業者もあり、そうした事業者と取引を行う青果や食肉等の売上也影響を受けている。未知のウイルスによる影響の大きさが感じられる。

新型コロナウイルスの感染拡大の終息は見えず、経済の停滞がいつまで続くのか見通しも立たない。経営・事業活動をあきらめてしまう中小企業が増加することも考えられ、県内の経済力・地域の雇用力の縮小が懸念される。経営を維持する大きな経済措置が望まれる。中央会では雇用調整助成金や持続化給付金の申請支援ほか、中小企業の事業継続力を高める各種支援を行っていく。

■ 業界からのコメント （業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照）

● 製 造 業

食料品 (水産物加工業)	水産加工業では、新型コロナウイルス感染拡大の影響での自粛要請により、ホテル・レストラン・居酒屋等向け業務用の売り上げは大幅に減少している。ギフト関係の売り上げも前年同月比18.7%であった。
食料品 (洋菓子製造業)	菓子製造業では、好天気により好調であった。また、学校が臨時休業になり、おやつ等の売り上げは前年同月比132%となった。

食料品 (麺類製造)	新型コロナウイルスの影響により、売り上げは大幅に減少している。
食料品 (パン・菓子製造業)	土産品関連の菓子製造販売では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により観光客が減少しているため、非常に厳しい状態である。
食料品 (酒類製造業)	新型コロナウイルスの感染拡大により、売り上げが減少している。
繊維・同製品 (織物)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、展示会やイベント等が中止となっている。今後の開催は予定が立たず、業界として不安がある。
繊維・同製品 (織物)	新型コロナウイルス終息の目処が立たないため、高齢の組合員は廃業を考えている。展示会・商談会の中止から、受注の予測が出来ない状況である。
木材・木製品製造	新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、今のところ出ていない。今後、米材・欧州材・ロシア材等の輸入材の減少、エンドユーザーの住宅の購買意欲低下は出てくると予想される。
印刷・同関連業	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、展示会やイベント等が中止となっているため、発注が減少している。観光・宿泊業やその他の業界にも多大な影響が出ているため、当業界の組合員企業にも影響がある。今後は廃業する企業が出てくることが予想されるため、組合運営も厳しい状況となっていく。
窯業・土石 (砂利)	今後、新型コロナウイルスの感染者が出た場合に工事現場が休止になると、工事の進捗に影響が出てくる恐れがある。4月から取引先へ単価値上げの依頼を行っており、適正価格の実現を図っていく。
窯業・土石 (山碎石)	補正予算執行を早めて、4月から6月の工事量が増加することを期待する。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、大手企業が工事を中止する報道があったが、今後実施された場合には製品が出荷できないのでどのようにしてこの危機を乗り切ったら良いのか、先行きが不透明なので判断しにくい。借り入れをするにしても何ヶ月で平常に戻るのか予想できないため、最悪の場合倒産までも考えて決断する必要がある。業界では、現場主体の業務がほとんどなので、人数削減や出荷制限は収入減少に直結する。現場が動いて製品が出荷できる体制へ早期に戻れるかが最大の課題となっている。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	新型コロナウイルスの感染拡大により、業界全体の仕事量が激減している。
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、売り上げが減少している。
一般機器 (金属製品製造業)	業界全体では、昨年からの厳しい状況が続いていたが、半導体関連・設備関連が少し持ち直してくる傾向であった。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、世界全体の経済の悪化・国内でも自動車関連の分野での受注が減少しているため、大変厳しい状況となっている。今後、世界全体で経済の悪化や景気の落ち込みによる受注の減少が続くと資金繰りや雇用の維持が出来るか懸念される。

電気機器 (電気機械部品加工業)	東京オリンピックの延期や新型コロナウイルス等の影響で、問い合わせ・発注が減っている。行政からの発注は予算の関係で、延期もしくは取りやめが予想される。メーカーからの部材供給は、遅れ気味である。
電気機器 (電気機械部品加工業)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、自動車関係の受注は減少し、厳しい状況が続いている。半導体関係は落ち込みが少ないが、5月後半から6月以後に落ち込むことが予想され、仕事量の確保が重要になってくる。航空機部品加工では、世界的な航空産業の縮小により、半年後には大きく仕事量が減少する。今後は、業界として対策が急務となってくる。
宝飾(研磨)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、全ての展示会・イベント等が開催出来ない。組合員企業にとっては大きな痛手となっている。

● 非製造業

卸売(塗料)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、売り上げは対前年比で▲30%程度減少している。従業員の勤務態勢の見直しが必要である。今後も売り上げは減少していくと考えている。
卸売(紙製品)	新型コロナウイルスの感染拡大が長引くことで、廃業せざるを得ない企業が出てくる。
卸売(ジュエリー)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、展示会・イベント等の開催が中止となっている。今後の見通しも予測できない状況である。
小売(青果)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響による外出自粛で、小売店の売り上げは減少している。また、天候不良により、白菜・キャベツ・レタス等の収穫量が減少したため、仕入れ価格が高騰している。
小売(食肉)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、飲食店・ホテル旅館等が休業となり、売り上げは減少している。小売販売を行っている企業は現状の最低限の売り上げをなんとか維持できるように継続していく。今後、終息が長引くことにより、さらに売り上げは減少していくことが予測される。従業員の雇用や組合員企業の経営も厳しい状況となっていく。
小売 (電気機械器具小売業)	前年比較では8%アップという傾向値が算出されているが、数か月前に受注した大型リフォーム物件などがあったため、一部のお店の数値が全体数値をあげている。多くの店は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で営業活動が停滞し、厳しい状況にある。今後も厳しい状況が予想される。
小売 (その他)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、組合員企業では時短や営業自粛等により売り上げが減少している。今後も厳しい状況は続いていく。
小売 (ガソリン)	新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令されてから車の使用が減少しているため、各ガソリンスタンドでは売り上げが減少し、在庫管理に苦慮している。
宿泊業	新型コロナウイルスの感染拡大により、休業するホテル・旅館が相次いでいる。緊急事態宣言の延長があった場合には更なる休業期間を設ける施設も多く、状況は大変厳しい。

美容業	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、組合員の店舗では消毒の徹底、マスク着用の三密を避ける努力してるが、売り上げは減少し、今まで経験したことのない影響が出ている。また、4月から期間を決めて休業する店舗も出てくる。組合には補助金・助成金の手続き等の問合せが多く、資金繰りに困ってる店舗が日々増えてる状況が感じられる。今後かなり厳しい経営状況に追い込まれ、組合を退会する組合店舗が増えると予想される。
産業廃棄物処理	新型コロナウイルスの感染拡大が長期化すれば廃業を考えなければならない。
一般廃棄物処理	新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言で、休業する得意先が増えている。勤務態勢の調整等を検討しなければならない。
警備業	例年4月は公共工事は減少を、春祭りや各種イベントの警備により売り上げ維持をしているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベント等が中止となっているため売り上げは前年同月比よりも▲70%と大幅に減少した。5月の各種イベントも中止となるため、売り上げはゼロとなる。また、建設業界の現場でも一部休止している状況や夏に向けて観光・公共施設等の閉鎖、スポーツやイベントの延期・中止が継続していけば組合員企業への影響は大きく、倒産する企業があると予測している。
建設業（総合）	昨年度は、請負金額では前年度比6%増加という結果であった。今年度4月の県内公共工事は前年同月に比べ件数では20%増加しているものの、請負金額では35%と大幅に減少している。新型コロナウイルス感染拡大による影響もあると考えられるが、今後の動向を注視したい。
建設業（型枠）	年度末工事が終わったことにより、4月の仕事量は低調であった。新型コロナウイルスの感染拡大により、大手ゼネコンによる現場封鎖による影響が徐々にでていく。今後、感染が広がり、クラスター発生した場合、多くの現場が封鎖される可能性がある。また、経済の失速により、公共工事だけでなく、工場や事務所店舗などの民間による設備投資が減少すると思われ、リーマンショック以上の影響が出るかも知れない。
建設業（鉄構）	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、ゼネコンが施工中の現場を中断する動きがあり工事の遅れが出始めている。
設備工事（電気工事）	新型コロナウイルスには、いづどこで感染してもおかしくないことから、仕事を進めていくうえで不安に感じる事が日増しに強くなってきている。終息時期が見えないため、組合員は危機感を募らせている。大手の工事がストップしていることから、今後のスケジュールをどうなっていくか心配である。また、電気通信設備工事において使用する資材も、部品調達が遅延するなどの影響により機器等の納期遅延が若干生じている。
設備工事（管設備）	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、今年度予定されている業界内の研修会やイベント等の開催の中止・延期の判断が難しくなっている。工事量への影響は今のところ無い。
運輸（タクシー）	新型コロナウイルスの感染拡大により外出が自粛されているため、売り上げは減少している。今後は会社の存続を考えて行かなければならない状況である。

運輸 (バス)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により仕事の受注はほぼない状況である。今後、終息してからも観光業界では回復するまで時間がかかると予測されるため、先行きの見えない不安がある。
運輸 (トラック)	新型コロナウイルス感染防止対策としての大型ショッピングモールをはじめとする商業施設等の休業により、全般的に物量は減少している。今後、政府による営業規制解除のタイミングが経済への影響の分岐点となる。感染拡大地域への配送ルートについて、感染防止に関するドライバーの精神的及び肉体的な負担に対するケアが重要となるが対応に苦慮している。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2019/4	2020/3	2020/4	2019/4	2020/3	2020/4	2019/4	2020/3	2020/4
売 上 高	5	-45	-65	7	-47	-60	6	-46	-62
収 益 状 況	-10	-40	-55	-7	-43	-50	-8	-42	-52
景 況 感	-25	-55	-65	-13	-40	-57	-18	-46	-60

※（（良数値÷対象数）×100）－（（悪数値÷対象数）×100）＝D.I値

